

2019 年タイ・依存症病院スタッフへのヨーガ療法支援ボランティア

2019/11/5~16

報告者 ヨーガ療法士 平塚次男

- 1 メーホーソン・タンヤラック病院 1 年目（2019/11/6 から 3 日間）Imperial ホテル泊
木村慧心先生他 7 名（平塚も出席）修了者 33 名



↑ メーホーソンのタンヤラック病院スタッフの皆さんにヨーガ療法の指導



↑ 患者の皆さんに木村先生の指導

↑ 全員そろって修了の記念撮影



11 月 7 日から患者にヨーガ療法の指導開始

【感想】

タイ国境に近いのんびりとした田舎町メーホーソン。この町のタンヤラック病院のスタッフにヨーガ療法の指導を 3 日間行った。皆さん真剣に受講されていました。最後は患者さんに直接先生が指導された。ここの指導を受けたスタッフは翌日から入院患者にヨーガ療法の指導を熱心に始めた。

2 チャンマイ・タンヤラク病院 2年目 (2019/11/9 日から2日間) Sanae ホテル
木村慧生先生他 10 名 (平塚も出席) 受講者 修了者 29 名



↑ チャンマイのタンヤラク病院

↑ 2年目の指導



↑ 翌日、HP で告知

↑ 修了式

【感想】

チェンマイのタンヤラク病院は2年目。木村先生がダルシヤナの方法を中心に指導しました。試験もダルシヤナで、受けた人とタイムキーパーが採点者です。翌日には昨年同様 HP で広報していました。積極的ですね。

3 ロブリー県 アナンタマヒドン病院 1年目 (2019/11/13 から3日間) パンナラホテル
木村慧心先生他 8 名 (平塚も出席) 受講者 修了者 28 名





【感想】

軍関連の病院です。薬物依存の軍人が収容されています。このヨガ療法講座に軍人の患者が 20 名、病院スタッフが 10 名近く参加しました。患者である軍人には教えるにくそうでした。しかし、彼らは真面目に勉強していました。「患者が患者にヨガ療法を教える場」になれば本当に素晴らしい。軍隊の麻薬の治癒率が 10%と聞くとその深刻さが分かる。参加した軍人の中で、ヨガ療法を真剣にやり、完全に治癒して、かつ軍人に教えたいと願えば教えられる可能性は大きいと信じる。それが退職後の嘱託でもあっても。

4 里子支援活動 ウボン (2019/11/25)

木村慧心先生他 7 名（平塚も出席） シーサケット・ラチャパット大学ホテル泊



↑ルーカムハーン校で石川さんの里子と



↑クカン校で平塚の里子と



↑NPO法人国際セーヴァの会に車寄贈



↑クカン校の里子たち（車の前で）

【感想】

毎年、里子をあつて励ましている（里子から励まされている）。日本のヨガ療法士の皆さんのご協力で、今年NPO法人国際セーヴァの会に車が送られました。セーヴァの会の活動がさらに活発になることが予想され、うれしい限りです。

5 シーサケット・ラチャパット大学交流 (2019/11/26)

木村慧心先生他 7 名 (平塚も出席)



↑ 大学の日本祭



↑ 大学と交流会



←大学と調印式

【感想】

ラチャパット大学は毎年盛大に「日本祭」を行う。歌や踊りのイベントだけでなく、日本語の辞書を引く競技会なども行っている。日本に興味を持つだけでなく、日本語を使った仕事ができるいいと思っています。

6 バンコク YIC 講座 ホープランドホテル会議室

木村慧心先生他 5 名 (平塚も出席) 受講者 3 名

【感想】

タイのバンコクの地でも YIC を学んでいるのですね。ヨーガ療法がタイの病院だけでなく、市民の間に広がるといいですね。



著者 平塚次男